

出場校 監督・顧問 様

公益財団法人全国高体連空手道専門部審判委員会

この度は、全国高等学校総合体育大会空手道競技大会出場おめでとうございます。平素は斯道発展になにかとご理解ご協力を頂き感謝申しあげております。

さて、この度の大会出場に関しまして、特に下記の点にご留意頂きますようお願い申し上げます。以前よりお知らせしております点と、全空連ルール改定に伴う変更点なども記してありますのでご一読のほど宜しくお願いいたします。

本大会は公益財団法人全日本空手道連盟競技規定、並びに公益財団法人全国高体連空手道専門部申し合わせ事項にのっとりおこなわれます。競技上の事については、最終的には審判団の決めたことに従い、円滑な競技運営にご協力ください。

① 「安全具」について

安全具については、決められた物を正しく装着してください。団体組手は、5人全員が試合開始時に全て装着済みでなければいけません。(使い回しは出来ません。)

シンガード、インステップガードも義務付けられています。

※メーカーは「東海堂、守礼堂、ヒロタ、東京堂インターナショナル、ミズノ」の5社のみで、全国高体連指定品となっておりますのでご注意ください。(マークの付いている物となります。)

※ミズノ製の首かけ式でないプロテクターは、本大会では使用出来ません。

尚、ミズノのホームページに首かけ式でないものがインターハイ使用可とありますが間違いです。

② 「組手競技」について

組手競技については、全空連新ルール(平成25年4月より実施)でおこないますのでお間違えのないように。注意して頂きたい点をいくつか記載いたします。

- ・ジュニア・カデットルールとなります。(上段突きは触れたら反則となり、メンホーから10センチ以内の突き・蹴りも決まっていれば得点になります。)
- ・倒した(倒れた)相手への蹴りは認められますが、十分に注意してください。
- ・相手の蹴り足を持つての投げは認められます。(ただし、危険な投げは禁止です。)
- ・10カウントルールを採用いたします。
- ・団体組手は、一、二回戦は勝敗がついても全員が試合をおこないますが、三回戦以降は勝敗がついた段階で終了いたします。
- ・個人戦は再試合はなく、同点の場合は判定がとられます。団体戦は、代表決定戦以外は同点の場合引き分け、代表決定戦のみ同点の場合判定をとります。
- ・負傷を装った場合(アクター)は、反則注意以上のC2の罰則となります。
- ・終了10秒未満での、場外や逃避行為は、それ以前にC2の罰則が警告までならば反則注意、C2の反則注意があれば反則となりますので注意してください。

- ・帯より下を掴んだり、持ち上げたり、投げようとする行為はC 1 の罰則になります。
- ・無防備は当たった時にのみ適用され、得点やC 1 と同時に使われません。
- ・約 2 5 秒間互いに何もしないような場合、「不活動」のC 2 の罰則になります。

※相手に何もさせないような掴みや、振り回すような投げはC 2 の罰則になりますので十分に注意してください。また、このような行為から投げってしまった場合はC 1 です。

※団体戦のオーダーの記入は必ず監督が行い、記入ミスがないようにしてください。

※新ルールでは主審が選手から遠い位置に立つことになり、「やめ」の声が選手に届きにくくなります。さらに応援の声が大きくなると、主審の声が聞こえず怪我等の恐れもです。監督・顧問の先生は、応援の仕方について、以前にもまして「拍手のみ」で行うことを徹底してください。

③ 「形競技」について

- ・形（個人・団体）1 試合における礼の回数が多く、形試合全体で計算するとかなりの時間に積算され、運営上時間の遅延につながりますので、今大会では以下のようにしますのでご協力ください。

「個人形、団体形ともに、コートの入退場の礼はしない。礼は、形の始まりと終わり、判定がでた後の「互いに礼、正面に礼」の4回とする。」(形・組手の礼法について参照)

- ・形の使用について

1・2回戦・・・第一指定形（繰り返し使用可）

3・4回戦・・・第二指定形（ " ）

5回戦以上・・・4回戦までに使用していない形

5回戦以上の形の使い方は、形の種類をA、B、Cとすると

	5回戦	準決勝	決 勝		5回戦	準決勝	決 勝
(1)	A	A	A	(4)	A	B	C
(2)	A	B	B	(5)	A	B	A
(3)	A	A	B				

④ 「監督」について

- ・今大会では監督席を設けますので、監督は個人戦・団体戦の組手試合の時必ず監督席に座ってください。

また、監督席に選手を呼んでアドバイスを与えることは出来ません。(個人・団体)

- ・臨時監督がつけるのは、同校の試合が並行して行われている場合です。

⑤ 「ガッツポーズ」について

試合中のガッツポーズについては減少傾向にありましたが、この1、2年増えてきました。従来通り高体連は、ガッツポーズは禁止となっています。審判員の方でも指導はしますが、場合によっては技を取り消す事もありますので十分注意してください。
団体戦では、試合をしていないメンバーもしてはいけません。

⑥ 「空手道衣」について

- ・上着の袖は最長手首までとし、肘から手首の中間より短くてはいけない。上着袖をまくってはいけない。
 - ・ズボンの長さは、少なくとも下肢の3分の2を覆う長さとし、踵が隠れてはいけない。
 - ・袖の空き部分、ズボンの空き部分に関しては、片側に寄せた状態で、余っている部分の長さが8～15センチでなければならない。
- ※必要と判断したときには、実際に測定し、それで違反と判明した場合1分間ルールを適用しますので、十分注意してください。

★ 空手道衣の袖の空き、及びズボンの空きの計測をする場合は、下記の状態でします。

1. 上着の袖の空き及びズボンの空きは、気を付けの姿勢で計測します。
2. ズボンの空きは、シンガードを外した状態で計測します。



形・組手の礼法について

形、組手の礼法については以下の事をしっかりと守ってください。

1. 組手

従来と変わりません。特に試合が終わってコートを出る際の礼をしっかりとおこなってください。

2. 形

平成25年度の選抜大会（静岡大会）で採用した方法とします。

以下の通りとなりますので、選手に指導徹底宜しくお願いいたします。

礼の回数は、以下にあります 礼①、礼②、礼③、礼④ の4回です。

呼び出し係 「赤 ○○選手」 ・ ・ ・ ・ ・ 選手「ハイ」
「青 ○○選手」 ・ ・ ・ ・ ・ 選手「ハイ」

赤選手、コート中央に移動して、礼をせずコート内に入る。

礼① をして形を始め、形が終わり礼② をする。

赤選手はそのまま礼をせずにコートの外に出る。

赤選手がコートの外に出たら、青選手は、赤選手と同様にコートに入って形をおこない、終了する。なお、始めに赤青の呼び出しをおこなっていますので、ここで青の呼び出しはいたしません。

青選手がコートから出たら、従来通り赤・青並んで判定を受け、その後、「互いに礼③、正面に礼④」をする。